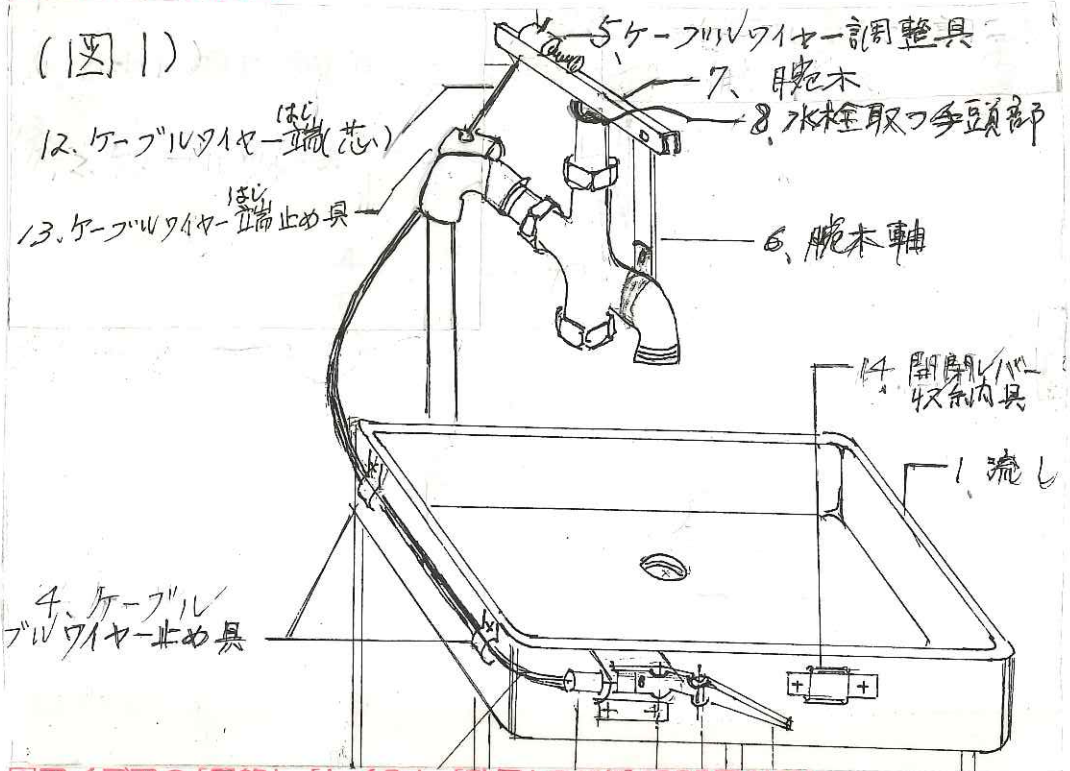


アイデア作品説明用紙 (整理番号 6263)

アイデアの名称 腰動水栓

①アイデアの説明図



②アイデアの「目的」、「しくみ」、「効果」の説明(300字以内)

- 「目的」。いつも使用している水栓ですが、水ハネしたりしてその辺が汚れる不潔である。又、ぬれ手で出水・止水をするのが煩わしい。
- 「しくみ」。図1の流し枠に設置されたレバー2、を腰で動かして、出水・止水する。
(1) そのとき、水栓の頭部が押され出水する。レバー2から離れると止水する。
- 「効果」。この腰動水栓を使用すると。
(1) 流し場の汚れが減る。
(2) 仕事は常に両手を使用できる。ほかどう。
(3) とくに水量の無駄が尤である。

個人情報
【住所】
【氏名】
【TEL】

1部

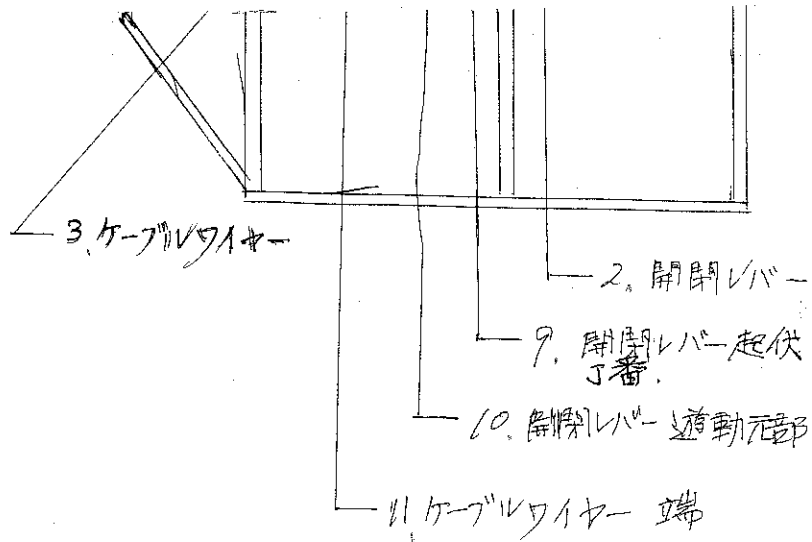


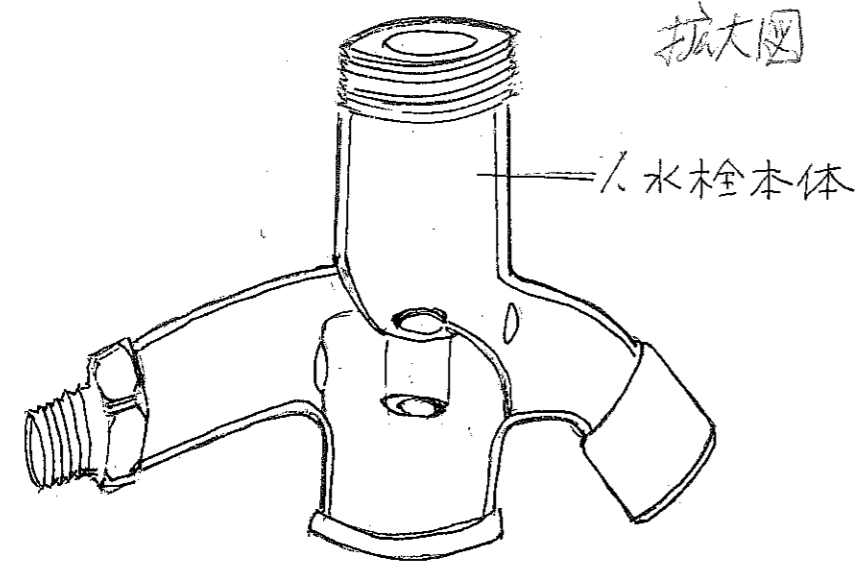
図1の 又の開閉レバー

他の補足図です
協力での体験ですお望しくお願
いします。

ス部

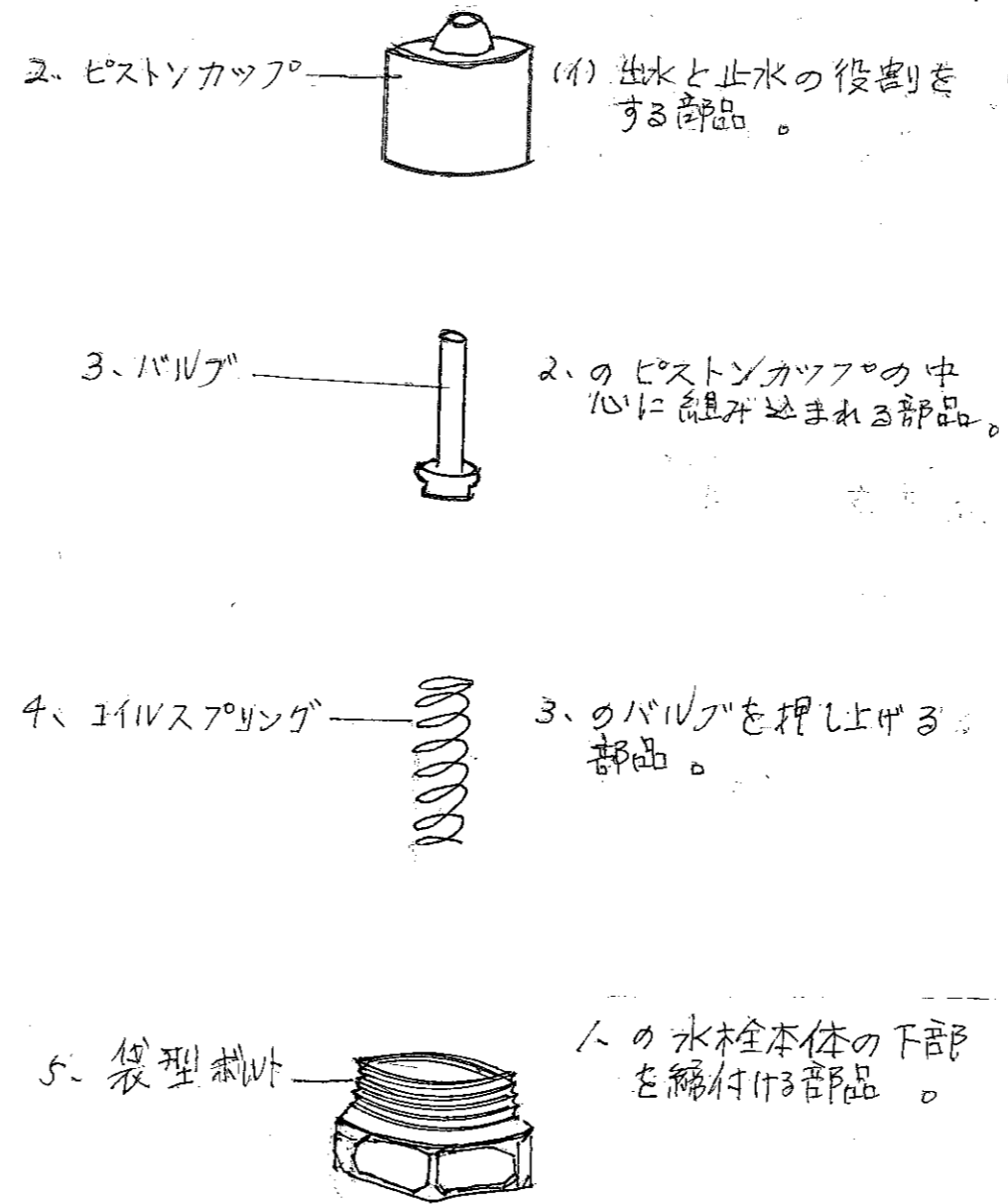
(図1) 水栓本体の側面図

拡大図

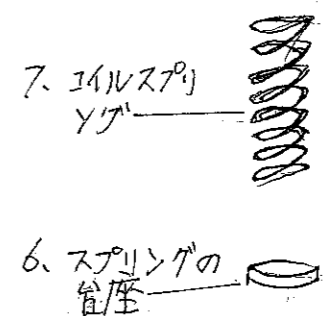
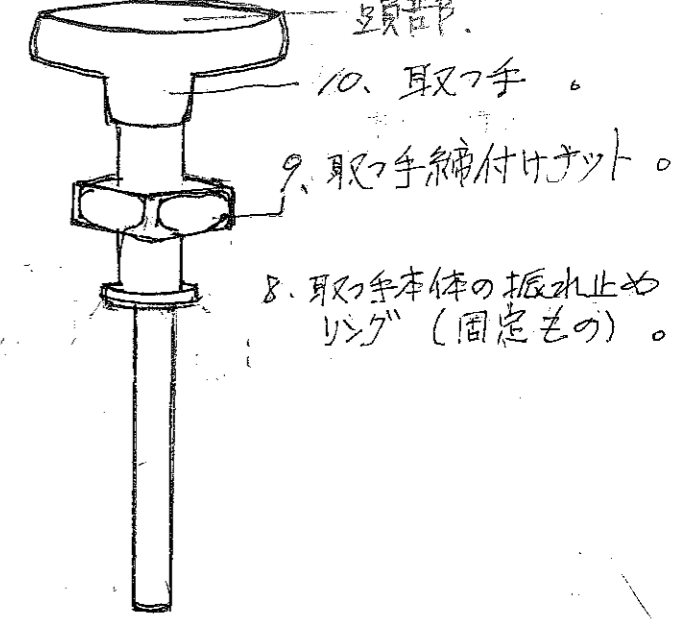


拡大図

(図2) 水栓の構造部品の組み立て順を示す



(図3) 水栓の取手部の拡大図



説明(1) 番号順に組み入れると上部が完了する。

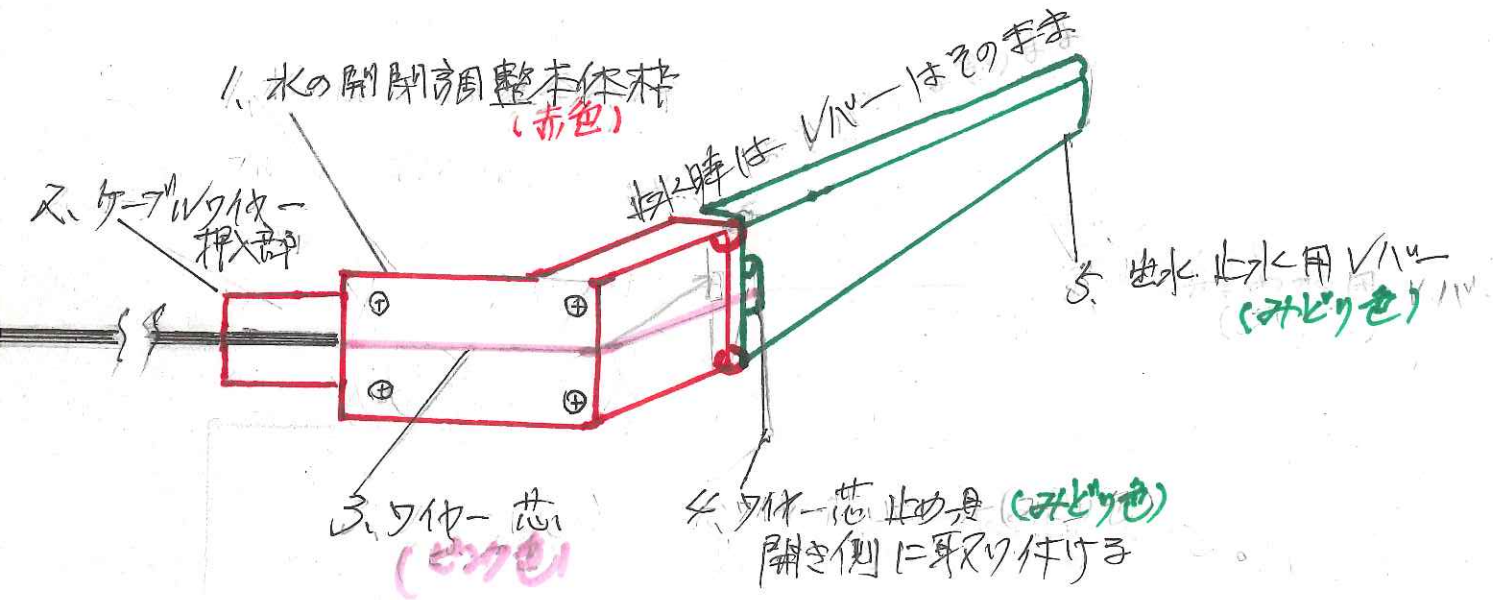
説明(1) 番号順に組み入れると下部が完了する。

水栓の内部。
この図面も補足します。

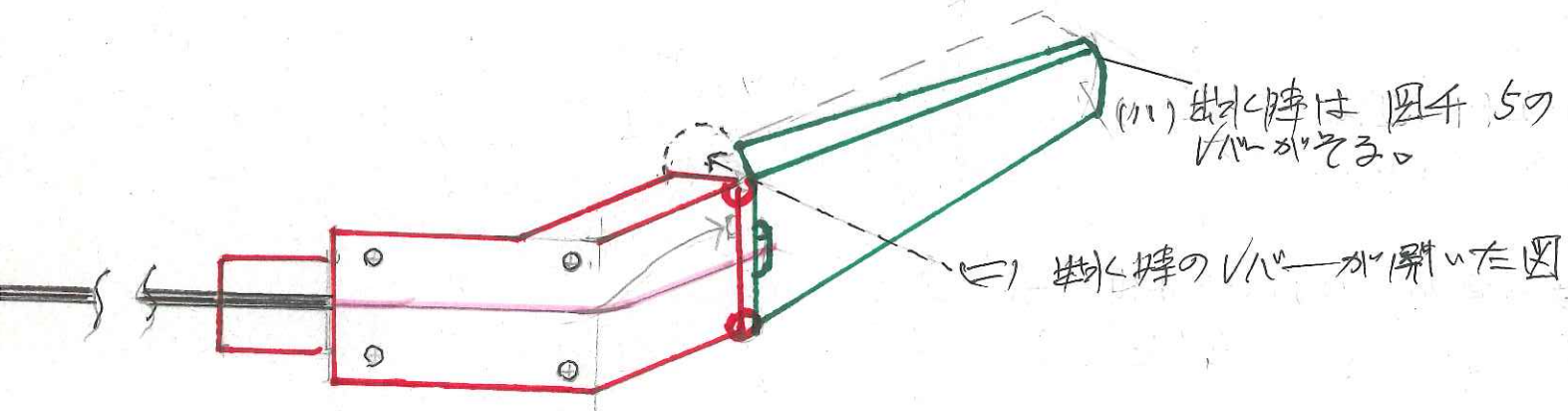
1、2、3 図。

(図4) 水の開閉調整部(裏面) 拡大図

3部



注) (1) 水の開閉調整本体棒は内部が空洞になっている。(2) 設置は流し棒に30°返して取り付けて完了。



説明「図4」上イ、1の水の開閉調整体を流し棒に取り付けて完了。
 ロ、おて「図1」の2, 9, 10, 11の構図になる。
 ハ、使用動作は、「図4」の5のVバーに腰を入れて動かして水を止める仕組み。
 ニ、止水は5のVバーから腰を離せば。
 ホ、これだけの動作で無駄水が30%ぐらい削減される。

同上図も補足します。